社会福祉への断想

岩室村社会福祉協議会長　本間　八十太郎

＜社会福祉の推移と村社会福祉協議会長を受諾した心境＞

将来の官制的運営から脱皮し、新しい村社会福祉協議会が誕生した。社会福祉の重要性の認識が高まり、その推進が叫ばれている今日喜ばしいことである。

ところで、社会に何等の寄与貢献もせず影の薄くなった不肖が、各位の格別のご教導により、かつて生存者叙勲の光栄に浴することができた。こうした恩義に応えるべく、可能な限り地域社会に対し奉仕ができたらとの念願が心底に潜在していたこと。今一つは心身を働かすことによって老化現象を最少限度にくいとめて、若さを保持したいこと。これらの心境から関係各位の強力なご支持を前提条件として会長を受諾した次第である。

＜社会福祉とは何か＞

人間らしい生活ができるよう、困っている人びとに対し、物心両面にわたり保護助長並びに予防的措置を講ずるための組織的活動と考える。ところで、国や地方公共団体の行う公的社会福祉事業については、行政面で、県に福利課、青少年福祉課、都市に福祉事務所、町村に住民福祉課の系列があり、生活保護法・児童福祉法・身体障害者福祉法・精神薄弱者福祉法などに基づき具体的な施策の推進に当っている。又、社会福祉法人その他の民間団体の行っている私的社会福祉事業の成果も大きなものがある。施設としては、養老院・授産所・簡易宿泊所・各種更生施設・保育所・母子寮等々各種多様のものがあり、それぞれの役割を果たしている。更にこうした範疇には心配ごと相談、老人クラブ、日赤等々の活動も入り実にその事業は広範囲に亘っている。

＜社会福祉事業の推進をはばむもの＞

社会福祉事業運営の指標となる理念は、

○個と全体との連関の上に立って社会は一連のものであり、人間尊重・互恵互譲の精神が基底をなす。

○最大多数の最大幸福を希う。従って、日の当らない人々へ福祉の光をくまなく与え、時に自立更生への保護助長をめざす。

と考える。

しかるに、これらの運営を虫ばむものはなんであろうか。私は次のことを指摘したい。

○自利の追求を優先する低次元の個人主義が利己主義と変り、更に享楽主義に墮落している。

○血のつながりのみ愛を感ずる狭小な心情。ために家庭内でさえ嫁と姑の確執がある。

○金が人間を支配するの社会的風潮から、生きることと喰うことの主客転倒。

○他人の不幸の上に自己の幸福をおしたてようとする我利我利主義の横行。

○経済の高度成長に毒されての人間性の喪失。等々

＜当村の社会福祉事業推進への望ましいこと＞

○経済更生の基盤に立っての精神の更生こそ大切。友愛互譲の心の培いを。

○自己の利益から竿頭一歩を進めて、他人のためになる利益を。

○勤労――分度――推譲の報徳精神を。

○仏教での慈悲、キリストの愛、回教・道教の敬ならど他人への同情心。生きとし生けるものへのあわれみの心――宗教によって培われる。

○各福祉の分野を堅持しながらも共励切磋し、渾然一体となっての運営。

等々が望まれよう。

当村としても新しく開拓できる面は多数あるはず。村ご当局の指示を仰ぎながらお互いが十分検討を重ねていきたいものである。今頭に浮んだ新生面の一例…母子福祉に対して父子福祉。就学免除児への訪問教室。精神病患者への社会復帰。……等々

「紙面の都合で骨子羅列・敬語の省略等ご寛容を乞う。」

―五一・七・七

七夕の月擱筆多謝―

二十歳になったら国民年金に

日本の国民は、二十歳になった日から、成人としての権利が得られ、同時に義務も課せられます。

国民年金に加入することもそのひとつです。

この国民年金には、厚生年金など他の公的年金に加入していない、二十歳から五十九歳までの人がすべて入らなければなりません。

年金は遠い将来のためだけではなく、交通事故や病気などで、思わぬ障害を受けたときなどに年金が支給されます。

未加入の人は、加入しましょう。

加入手続きは、住民福祉課で行なっております。

社会福祉協議会新委員のご紹介

岩室村では、十五名の方を社会福祉協議会の委員に委嘱し、ご活躍をいただいておりますが、地域や団体代表などに一部交替がありましたので、改めて各界の代表である十五名の委員の方々をご紹介いたします。

（順不同・敬称略）

一号委員（地域の代表者）

山上　勇雄　夏井　和納一区
早川喜五郎　和納二区
田中　高蔵　間瀬三区

二号委員（住民福祉関係者・同団体の代表者）

棚橋　倉吉　石瀬　和納三区
佐藤九三九　和納三区
五十嵐浄尊　間瀬二区
阿部　ヤノ　夏井　本田　ツイ　和納三区
篠原　スイ　間瀬五区

三号委員（学識経験者）

渡辺　洞雲　石瀬
本間八十太郎　石瀬
伊藤　喜一　和納四区
山上　一夫　夏井
鈴木　哲夫　間瀬六区
木村　要　間瀬二区

なお、去る六月十八日に開催された協議会では、互選により役員の選任を行いましたが、

本間　八十太郎委員

が会長に選任されました。

右の方々のご指導により本村の社会福祉が、いっそう充実することをねがってやみません。

未納保険料はありませんか

国民年金保険料を期限までに納めないと、将来、老令年金や障害年金、母子年金などすべての年金を受けられなくなる場合があります。保険料は必らず納期限までに納めましょう。

保険料の納付についてくわしいことは役場住民福祉課窓口でおたずねください。

福祉年金証書が交付されます

県における証書の審査が終わり、送付されましたので八月二十日すぎに交付したいと思います。

交付場所及び時間等は、受給権者個人宛通知致します。

悲しみの中から　香典返しの御寄附

和納二区の池上昇さんは五月十三日お父さんを亡くされました。

悲しみもきえやらぬ中より「恵まれない方々のために少しでもお役にたてていただければ」と五万円の多額の御寄附が届けられました。

故人の御冥福をお祈りいたしますとともに、ありがたく頂戴させていただきます。

篤志ありがとうございました

六月十八日石瀬金比羅権現奉讃会々長本間八十太郎さんより、社会福祉の一部にと金比羅権現様のありがたいおさい銭をいただきました。

今年も千五百五拾七円のご寄附をよせられました。

御趣旨に沿うべく今後とも社会福祉に努力いたしたいと存じます。

好評だった文化大講演会

去る七月一日、NHK解説委員長、緒方彰氏を招へいし、開催した文化大講演会は、村内外あわせて七百名からの聴集を得て、盛会のうちに終了いたしました。

講師のたくみな話術と豊富な体験とが一致して、演題から受けるかたくるしい印象とは違って、時々、ユーモアをまじえながら、世界における日本の情勢を実にわかりやすく解説していただきました。

村では予想以上の盛況で今後この種の機会を大切にするために、できれば毎年開催する方針でおります。

戸籍シリーズ ⑦

【問】子の出生届をするときに「悠子」と命名して届出に行ったところが受理してもらえなかった。これはどういうことなのかきかせてほしい。

【答】戸籍法、戸籍法施行規則によると、子の名に用いることのできる文字は(1)当用漢字、(2)人名用漢字、(3)片かな又は平がな（変体がな除く）であって本問にいうところの「悠」の文字は右の使用を認められた文字の範囲に含まれていない。そのために「悠子」と命名した出生届が受理されなかったのです。

ところで命名に用いることのできる文字の範囲を拡大してほしいという要望が強いので今回民事行政審議会において命名用漢字の制限をゆるめるべきか否かについて検討がなされております。当面は「当用漢字表」「人名用漢字表」による制限方式を踏襲しながら必要に応じてその漢字を追加する等従来の措置を継続するとともに、なお国語審議会における今後の検討をまって対処する運びになっております。

ドライブインが研修センターに

～岩室観光開発KKよりお知らせ～

通常総会において、承認ずみとなっておりました当社のドライブインの貸付については、今度、新潟県労働衛生医学協会に貸付けることにしました。

同協会では、このドライブインを補修し、内部改造して、あらたに新潟県労働衛生医学協会附属研修センター「山荘岩室」と命名し、七月八日オープンしました。

この施設は、岩室温泉病院利用者の社会復帰訓練場の一部として、同院、職員の厚生施設として、更には広く地域社会の皆さんの憩の場としてころもがえをしました。

入場は無料となっております。どなたもお気軽にご利用ください。

東北電力・巻ライオンズクラブよりありがたい寄贈

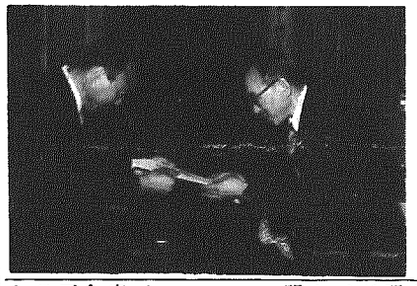
村に対し、東北電力より街灯（一・二ワット螢光防犯灯一式）四灯の寄贈がありました。

東芝製自動点滅器付の立派なもので、村ではさっそく間瀬二ケ所、和納十一区に一ケ所、久保田一ケ所に設置し防犯に役立てることにいたしました。

◇巻ライオンズクラブからは、とっさのときに活用してと、急救ハンドブック全戸数分の寄贈がありました。

このハンドブックはすでに各戸に配布されよろこばれております。

また、同クラブでは、シーズンを迎え、気持ちよく海水浴ができるようにと



佐藤広司さん県大会で入賞

～新潟県建築技能向上競技大会～

去る六月六日（日）新潟建築技能センターで行われた建築技能向上競技県大会で郡、地区大会共に一位で通過、県大会三位に入賞しました。

B部門（四方転び）

三位　佐藤　広司（和納二区）

間瀬海岸一帯の清掃奉仕をも行ってくださいました。

海岸の美化について、真剣に考えておられる方々がいることを思い一人一人の自覚で「来たときよりも美しく」を心がけましょう。

数々の善意に感謝します。

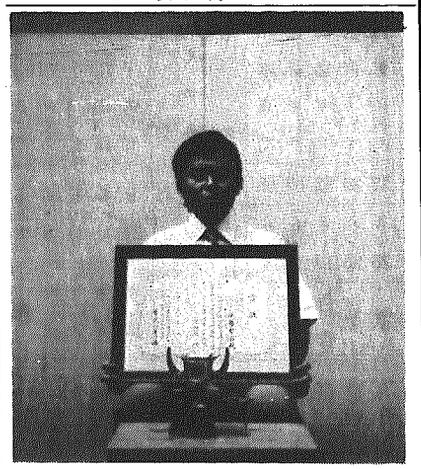
体育の日を中心に村民体育祭開催

主催　体育協会

「村民総スポーツ達成をめざし」スポーツの実践活動を通じて広く村民の身心の健全な育成を図り明るい豊かな生活の実現を目ざすと共に村民のスポーツへの関心を高め「いつでも」「どこでも」「だれでも」が活動への参加を図ることを期して岩室村民体育祭を開催することになりました。村民各位の格段の御理解を戴きご近所、お友達をお誘い合せのうえ多数参加下さるよう望みます。

◎種目　野球（一般、少年）、銃剣道、剣道（一般少年）、卓球、空手道、婦人バレーボール、民謡

尚、会場及び日程等については九月広報に掲載します。



日赤社費にご協力ありがとうございました

皆さんの絶大なご理解とご協力によりまして、本年度の日赤社費も目標額を大きく上まわる五十八万八千三百円の納入をいただき、日赤へ送金を完了いたしました。還元される交付金、助成金等により、講習会、日赤救命ボートの就航、献血協力者に対する記念品等地域奉仕活動を計画させていただきます。皆さんの特段のご厚意に厚くお礼申し上げます。